気象庁
Japan Meteorological Agency

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

報　道　発　表

令和８年11月19日04時25分
地　震　火　山　部

「令和8年熊本地震」について（第13報）
～令和8年11月19日02時22分頃の熊本県天草・芦北地方の地震について～

令和8年11月19日02時22分頃に発生した熊本県天草・芦北地方を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先	地震火山部 地震津波監視課 電話 03-3434-9041

～令和8年11月19日02時22分頃の熊本県天草・芦北地方の地震について～

震度5弱を観測

震度5弱　熊本県

（揺れの強かった地域）

落石や崖崩れなどに注意

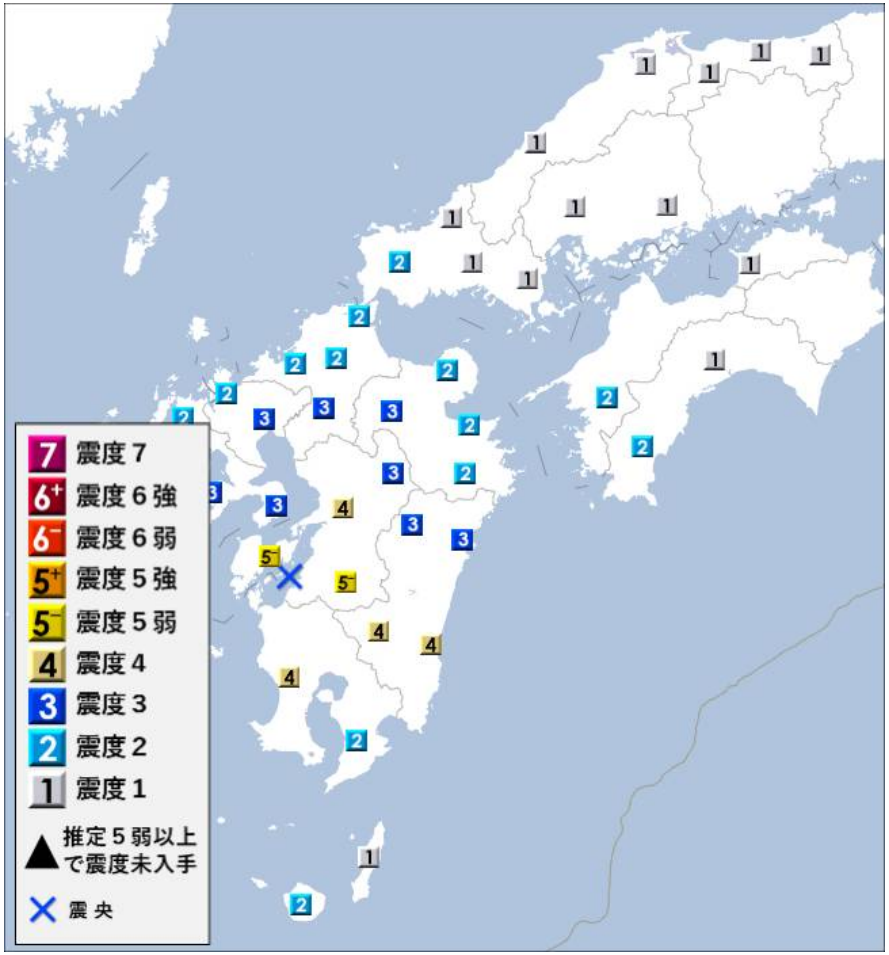
※1週間程度（特に今後2～3日の間）

最大震度5弱程度の地震に注意

過去に続発事例あり。

さらに強い揺れの地震発生のおそれも。

11月19日02時26分発表



地震の概要

検知時刻 （最初に地震を検知した時刻）	11月19日02時22分
発生時刻 （地震が発生した時刻）	11月19日02時22分
マグニチュード	5.7（暫定値）
発生場所	熊本県天草・芦北地方 深さ10km（暫定値）
発震機構	北北西―南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震（速報）
震度	【最大震度5弱】熊本県の球磨村（くまむら）・あさぎり町（あさぎりちょう）・水俣市（みなまたし）・芦北町（あしきたまち）・津奈木町（つなぎまち）の合計5つの市町村で震度5弱を観測したほか、中国地方・四国地方・九州地方で震度4～1を観測
地震活動の状況 19日03時55分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が21回発生（震度3：2回　震度2：5回　震度1：14回）
長周期地震動の観測状況	熊本県熊本、熊本県天草・芦北で長周期地震動階級2を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

（防災上の留意事項）

この地震による津波の心配はありません。

揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどが起こりやすくなっている可能性がありますので、今後の地震活動に注意してください。

（今後の地震活動の見通し）

この地域では過去に、大地震発生から1週間程度の間に同程度の地震が続発した事例があることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5弱程度の地震に注意するとともに、さらに強い揺れをもたらす地震が発生する可能性もありますので注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、強い揺れをもたらす地震が発生することが多くあります。

また、海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波に注意する必要があります。

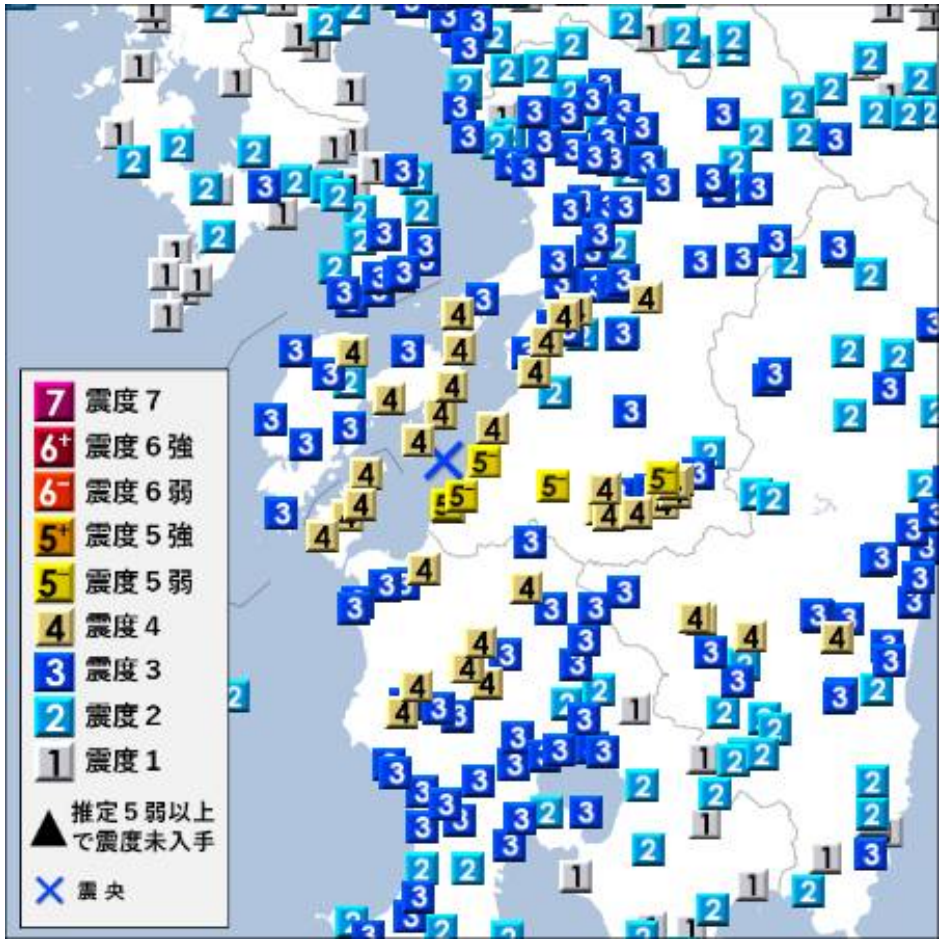
（今回の地震と「令和8年熊本地震」の関係）

今回の地震は、「令和8年熊本地震」の一連の活動です。この地域では今年7月28日に発生したM7.1の地震以降、地震活動が続いています。

今回の震源周辺には、日奈久断層帯が存在しています。

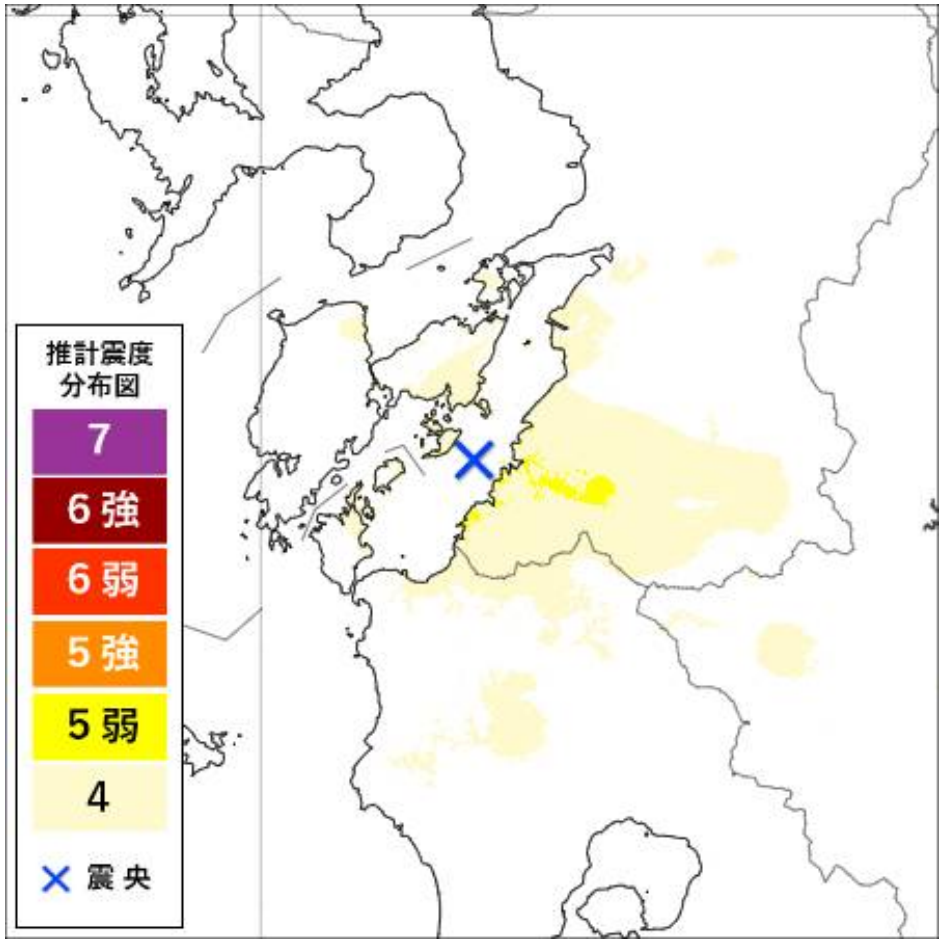
震度分布図・推計震度分布図

【各観測点の震度】



11月19日02時26分発表

推計震度分布図



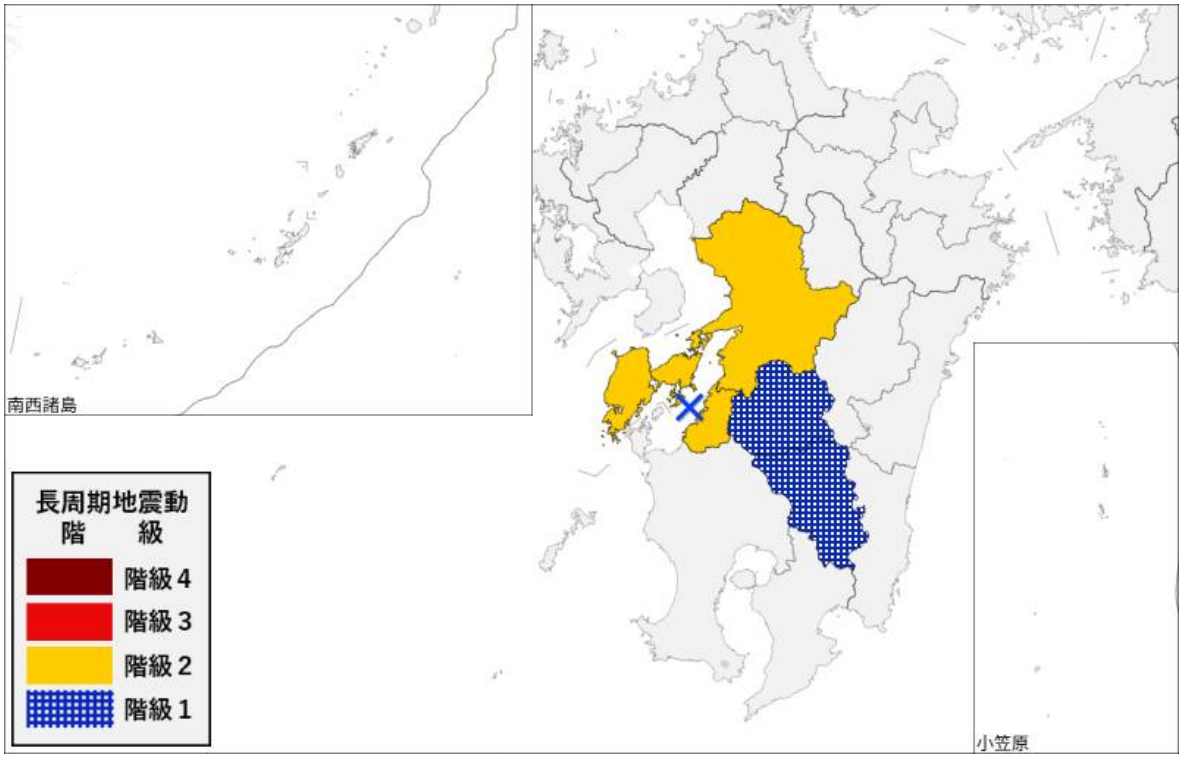
※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。
地震情報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
推計震度分布図：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

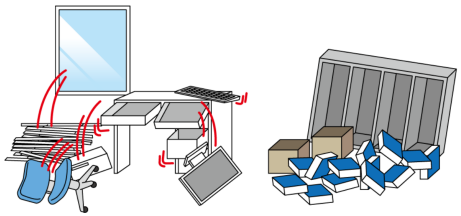
長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称
階級2	熊本県熊本　熊本県天草・芦北
階級1	熊本県球磨　宮崎県南部山沿い

11月19日02時31分発表



階級4



立っていることができない

階級3



立っていることが困難

階級2



物につかまりたいと感じる

階級1



ほとんどの人が揺れを感じる

最新の情報は、以下のページでご確認ください。
長周期地震動に関する観測情報：https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm

～令和8年11月19日02時22分頃の熊本県天草・芦北地方の地震について～

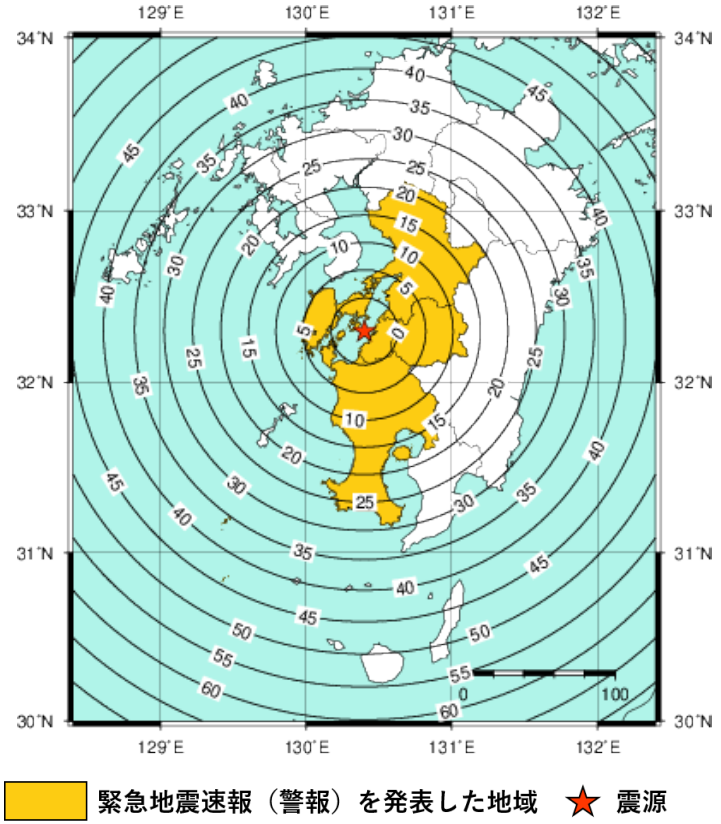
緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過時間（秒）	震源要素					予測した震度と階級
地震波検知時刻	02時22分25.8秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	02時22分30.1秒	4.3	熊本県天草・芦北地方	32.3	130.5	10km	1.0	※1

※1　震度5弱程度以上　熊本県天草・芦北、鹿児島県薩摩
　　震度4程度以上　熊本県熊本、熊本県球磨

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



緊急地震速報（警報）を発表した地域　震源

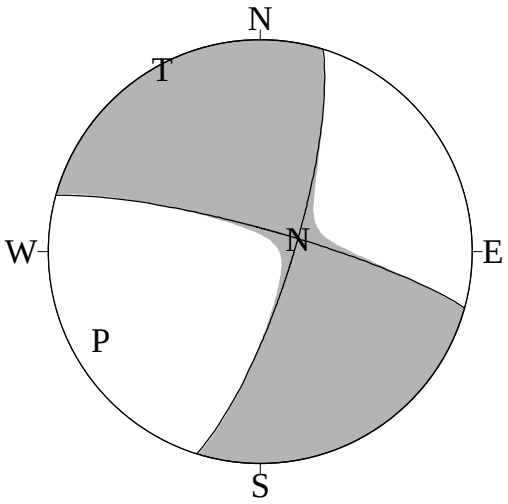
発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。
緊急地震速報（警報）の発表状況：https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

発震機構解

11190222

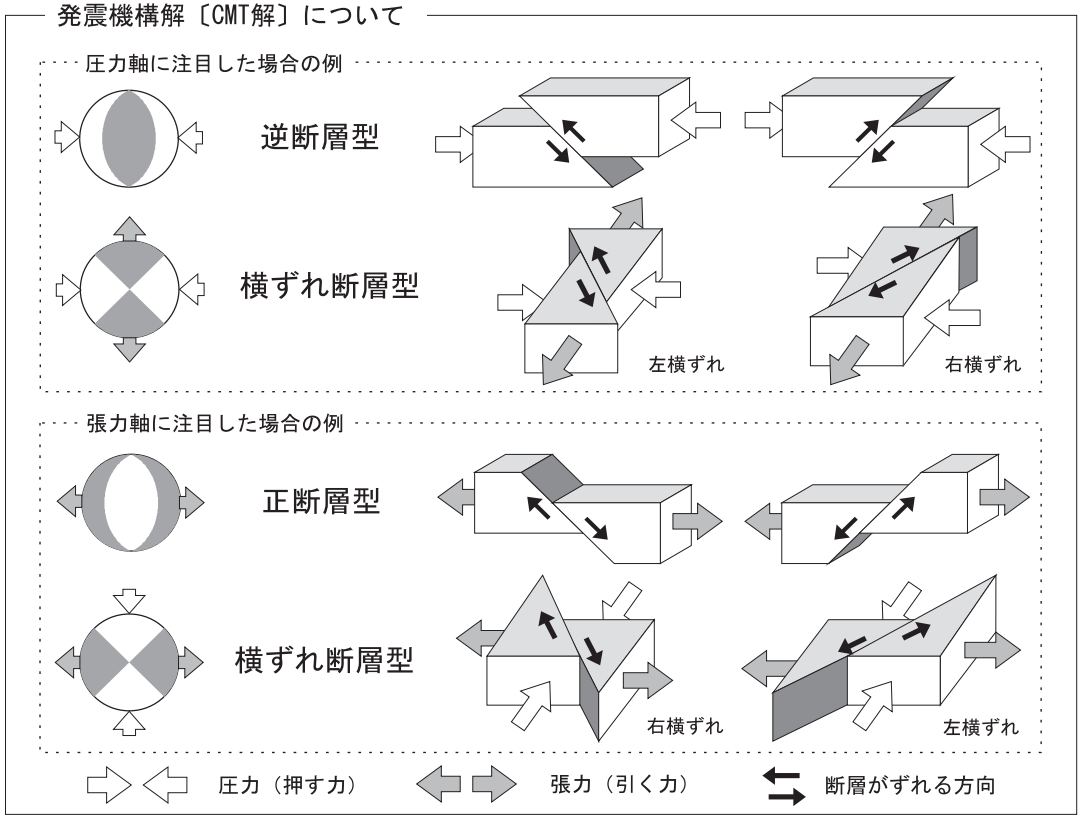
北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型

[CMT解(速報)] **Mw=5.4**



下半球等積投影法で描画
P：圧力軸の方向
T：張力軸の方向

セントロイドの位置
北緯 32度21分
東経 130度28分
深さ 約15km
※セントロイドの位置とは、
地震の断層運動を１点で
代表させた場合の位置。



気象庁作成

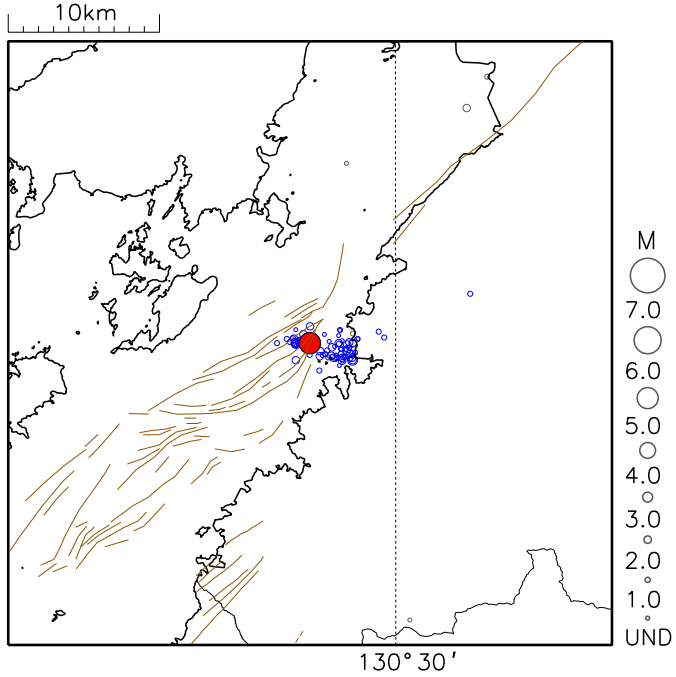
今回の地震活動

震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、　M　全て

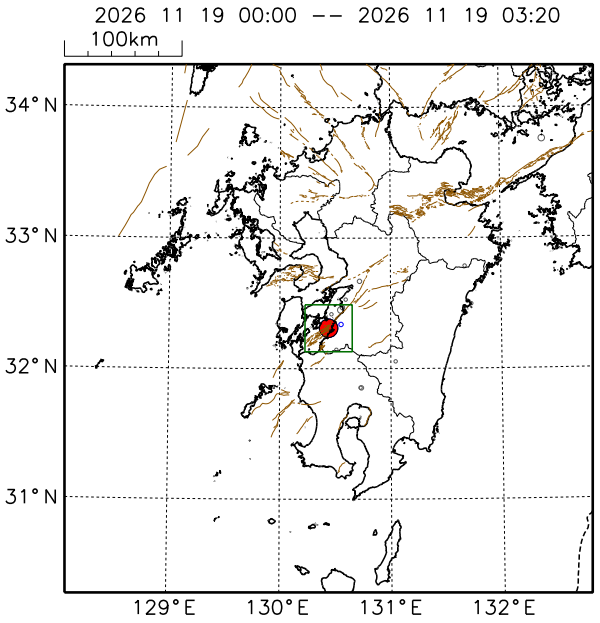
2026 11 19 00:00 -- 2026 11 19 03:20



震央分布図（広域図）

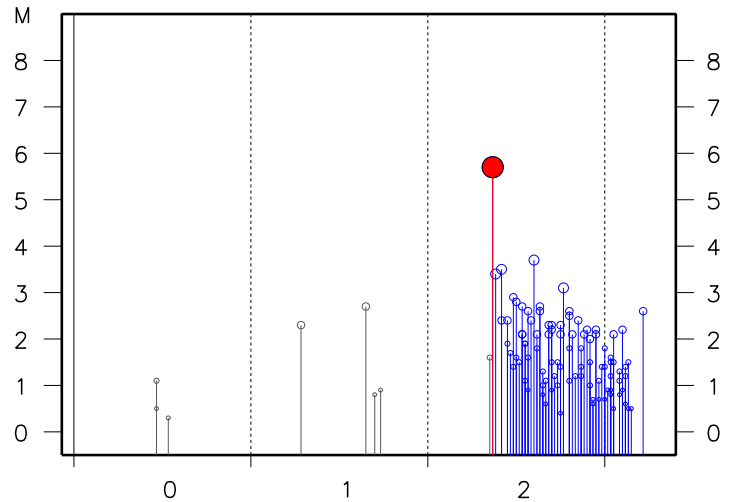
深さ0 -- 100km、　M　全て

2026 11 19 00:00 -- 2026 11 19 03:20



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2026 11 19 00:00 -- 2026 11 19 03:20



(震源の色について)赤色：今回の地震　青色：今回の地震より後に発生した地震　灰色：今回の地震より前に発生した地震

- 震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- 震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

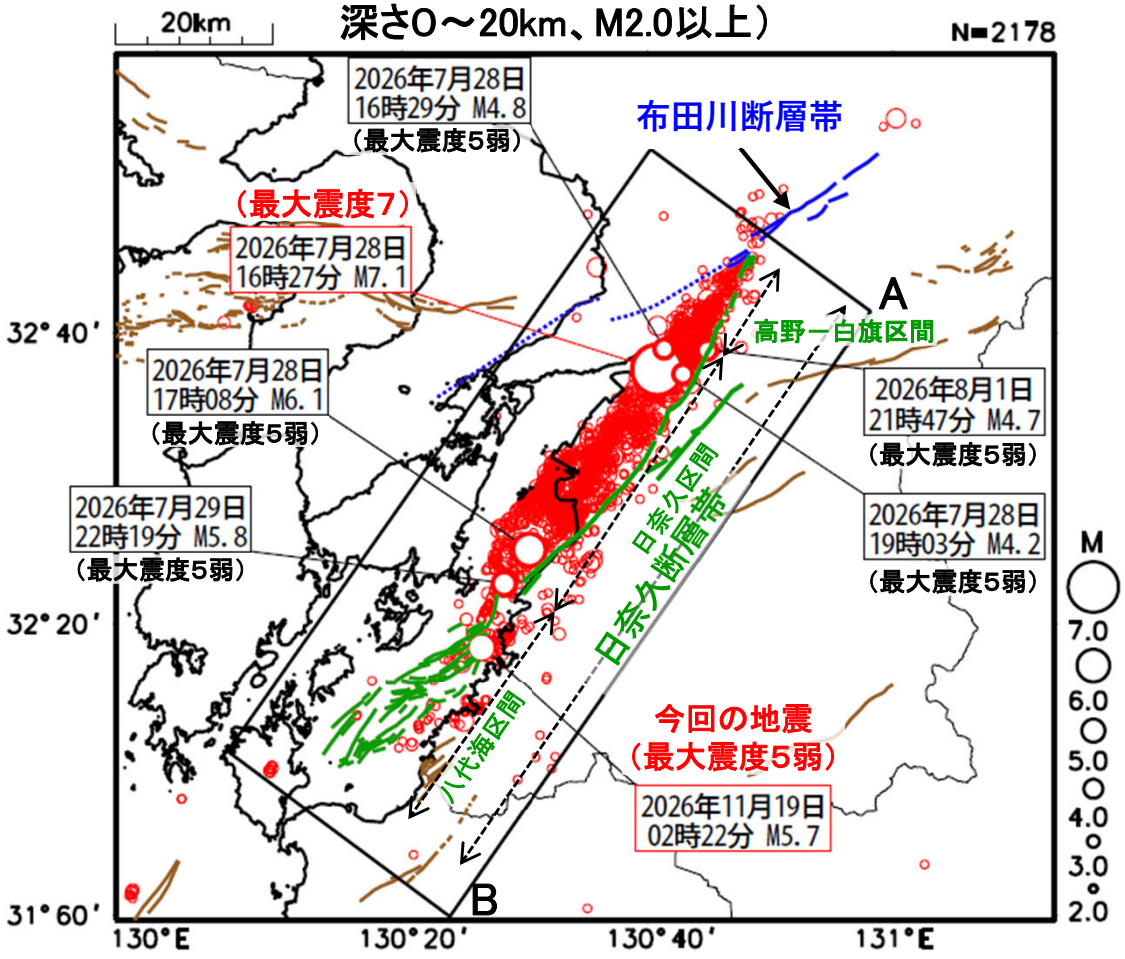
＜資料の利用上の留意点＞

- 表示している震源は、速報値を含みます。
- 速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- 個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

気象庁作成

「令和8年熊本地震」の地震活動
（発生場所の詳細）

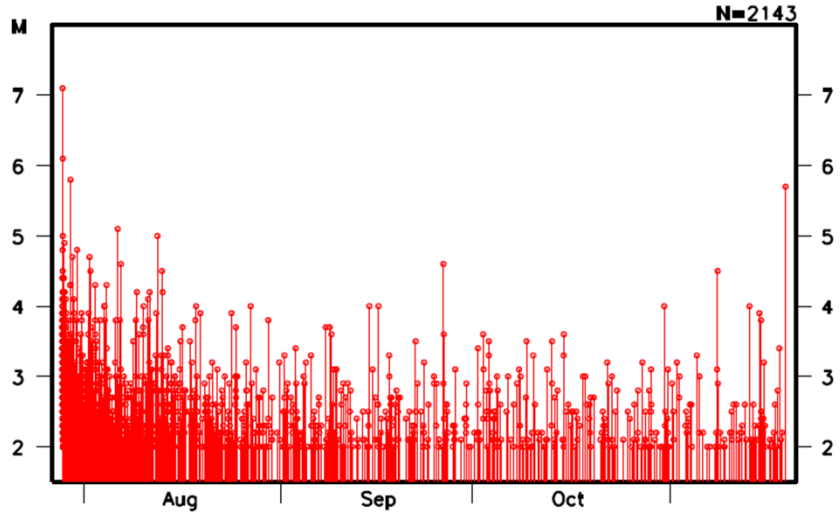
震央分布図
（2026年7月28日16時～11月19日02時23分、
深さ0～20km、M2.0以上）



震源は未精査のものを含む
丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

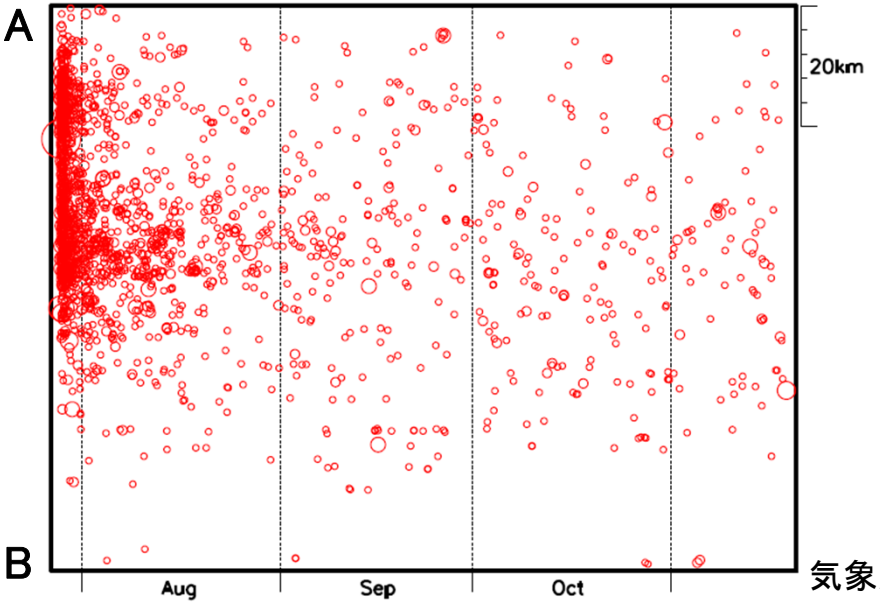
震央分布図中の青、緑、茶色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

左図の四角形領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュードを表す

左図の四角形領域内の時空間分布図（A–B投影）

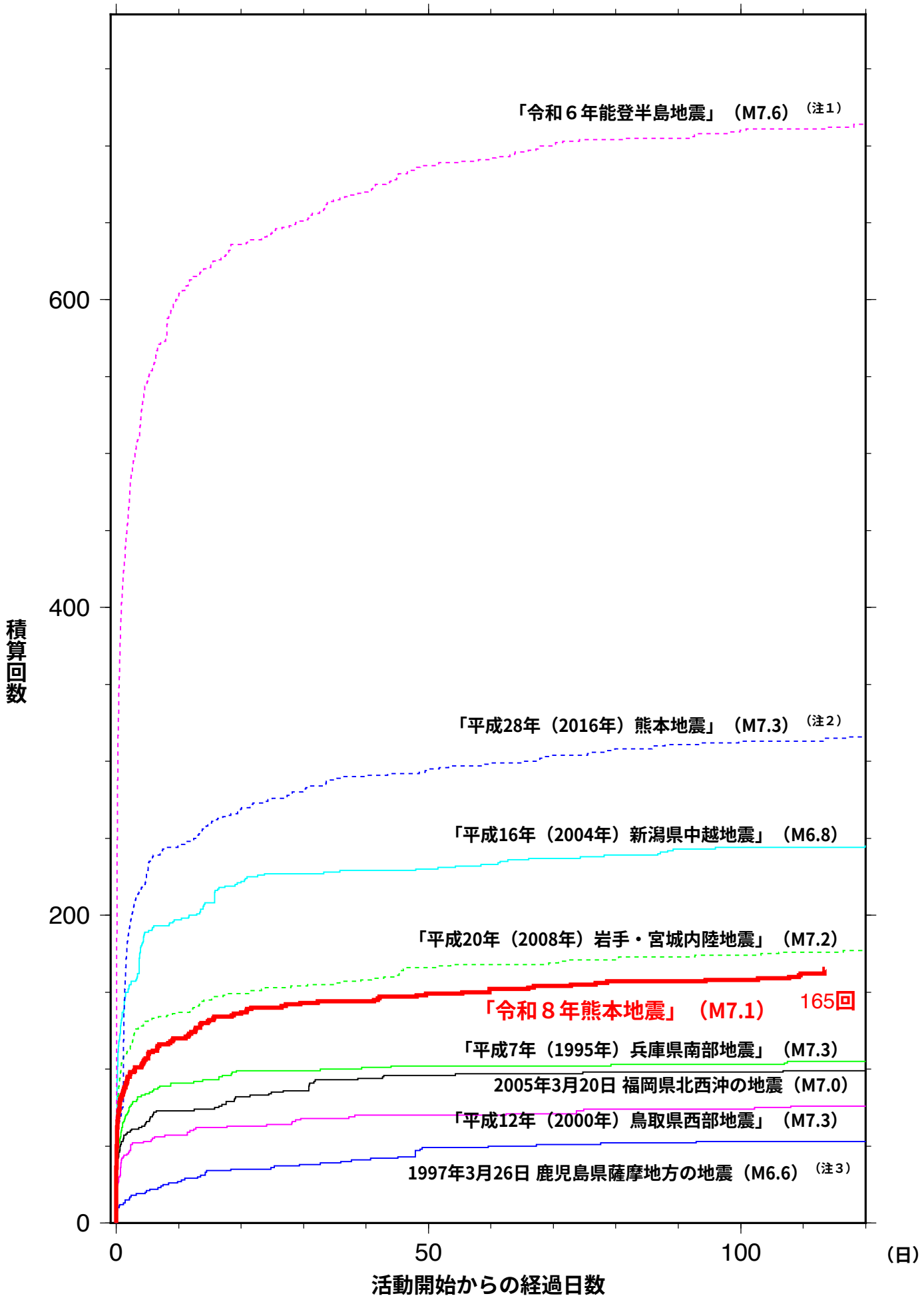


気象庁作成

地殻内で発生した主な地震活動の地震回数比較（マグニチュード3.5以上）

（回）

2026年11月19日03時00分現在



※この資料には速報値が含まれており、後日の調査で変更することがある。
※「　」書きは気象庁が定めた名称を示す。
（注１）2024年１月１日16時10分（M7.6）の地震を起点にカウントしている。
（注２）2016年４月14日21時26分（M6.5）の地震を起点にカウントしている。
（注３）1997年３月26日17時31分（M6.6）の地震を起点にカウントしている。

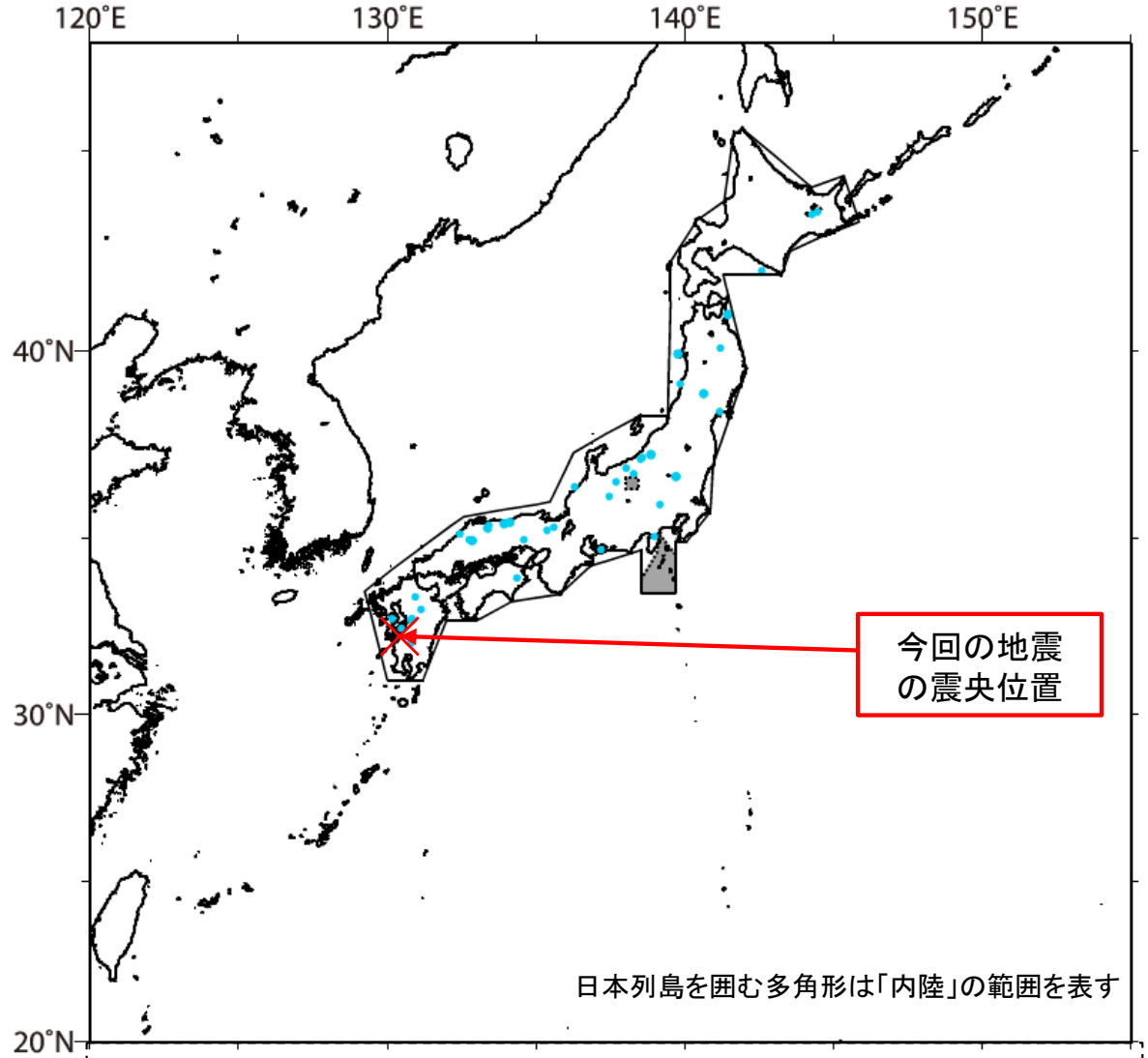
気象庁作成

震源周辺における規模の近い地震の続発事例について

（参考資料）

大きな地震発生後に規模の近い地震が続発した過去の事例（内陸地殻内）

1923年～2016年６月、内陸で発生した深さ0～30km、マグニチュード5.0以上、規模の差が0.5以内もしくは同規模以上の地震が発生した地震を●で表示



規模が近い地震が続発した過去の事例は、地震調査研究推進本部地震調査委員会「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」報告書による。

■日本全国での過去の事例

内陸の浅い場所で発生した大きな地震の場合、過去には規模が近い地震が続発した事例があります（左図の●及び灰色の領域）。また、まれに、発生した大きな地震よりも、より規模の大きな地震が発生した事例もあります（563事例中、35事例で全体の6%）。

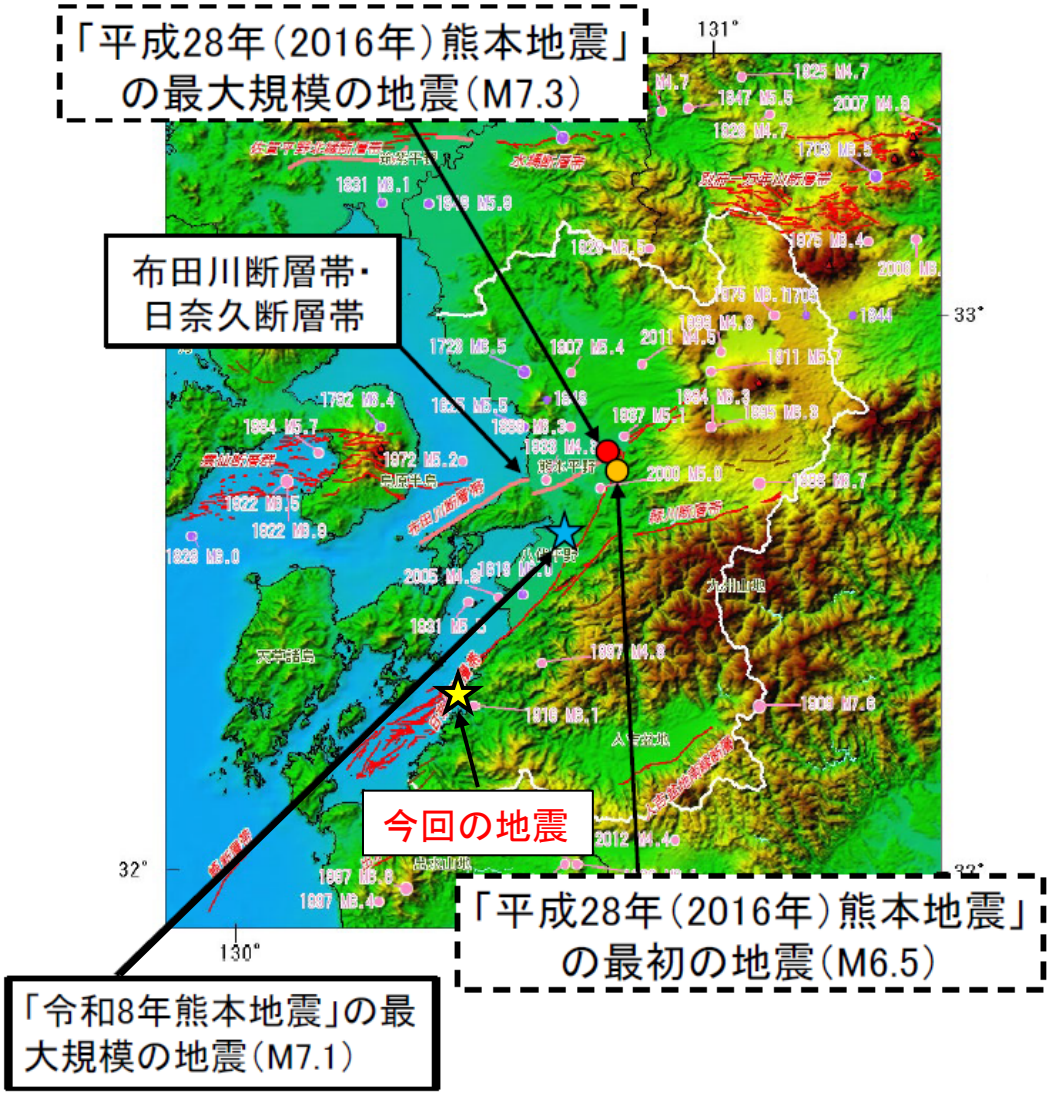
■今回の地震の周辺における過去の事例

今回の地震の周辺では、1931年に熊本県天草・芦北地方で発生したM5.5の地震の1.3日後にM5.6の地震および4.8日後にM5.8の地震が発生した事例があります。また、2016年に熊本県熊本地方で発生したM6.5の地震では、2時間後にM6.4の地震および1.1日後にM7.3の地震が発生しています。

気象庁作成

震源周辺の活断層について

（参考資料）



●周辺の活断層

○今回の地震の震源周辺には、日奈久（ひなぐ）断層帯が存在します。

●過去の例

○「平成28年（2016年）熊本地震」では、M6.5の地震が発生した2日後に、隣接する別の活断層でより規模の大きな地震（M7.3）が発生しました。

○過去には、2005年の福岡県北西沖の地震（M7.0）のように、大きな地震の後、近くの活断層（警固断層帯南東部）は活動せず当初の地震活動域が広がらなかった例もあれば、1930年の北伊豆地震（M7.3）のように、近くの活断層（北伊豆断層帯）が活動し、当初の活動域が広がった例もあります。

●留意事項

○過去の例のように、今回の地震の周辺に存在する活断層等で大きな地震が発生する可能性は否定できないため、留意が必要です。

○今回の地震の周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合には、周辺で震度6強以上の強い揺れになると予想されています。

気象庁作成

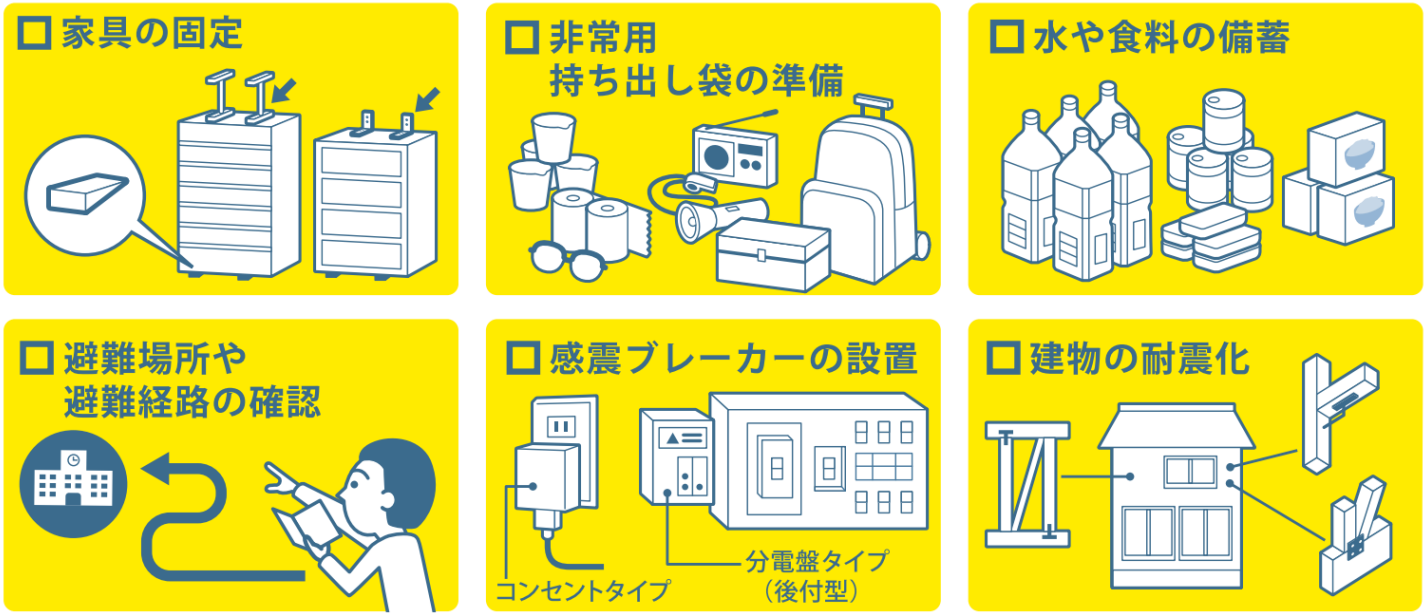
発表した情報などについて

- 津波警報等の発表状況
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami
- 津波の観測状況
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami
- 潮位観測情報
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel
- 地震情報
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm
- 緊急地震速報の発表状況
  https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
  https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html
- 震央分布
  https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo
- 地震から身を守るために
  https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
  https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報X（旧Twitter）
  https://x.com/JMA_bousai



日頃からの地震・津波への備え

日本国内では、いつどこで規模の大きな地震が発生してもおかしくありませんので、
日頃からの地震・津波への備えを心がけてください。





沿岸にお住まいの方は、「津波ハザードマップ」で
「津波の避難場所」や「避難経路」等を確認しておきましょう。

地震から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/jishin_bosai/index.html
津波から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/tsunami_bosai/index.html